



新宿区立新宿養護学校

# ひまわり

令和8年度5月号



## 『6月をむかえて』

副校長 金田 実

若葉の緑が日に日に鮮やかさを増し、爽やかな風が心地よい季節となりました。新年度が始まり、二か月が過ぎましたが、子供たちは新しい教室や教員にも少しずつ慣れ、それぞれのペースで学校生活を送っています。生活や授業に落ち着いて取り組んでいる様子を見ると、一人ひとりの成長が感じられ、私たち教職員も大変うれしく思っています。

### <大雨に注意！>

気持ちの良い気候が続いていますが、今年は平年並みの6月の上旬に梅雨入りする予報が出ています。約一か月半続く梅雨の影響で、例年全国各地で洪水や河川の氾濫、土砂崩れなどが起こっていますが、特に集中豪雨による被害は大きなものとなっていて注意が必要です。このような自然状況に応じて、令和7年までは警報・注意報が出されていましたが、令和8年からは、警報・注意報にレベル1から5が表記され、危険度が5段階で表されているのを御存知でしょうか。(詳しくは、添付の気象庁のちらし『いつ逃げる？レベルで判断！』を御覧ください。)[レベル1:早期注意情報]、【レベル2:注意報】、【レベル3:警報】、【レベル4:危険警報】、【レベル5:特別警報】となり、【レベル5:特別警報】は、安全な避難ができず命が危険な状況で、今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動しなければならない状況とされます。新宿区などの都心は、地下に大規模な貯水施設を備えており、水害には強いと言われていますが、何が起こるか分からないのが自然です。【レベル3:警報】以上であれば必要に応じて避難が必要なことを覚えておいて、災害への備えとしてください。

### <自立活動の校内研究>

さて、本校では、昨年からは、自立活動の研究を行っています。「自立」と聞くと、「一人で何でもできること」と捉えてしまうことが多いですが、特別支援学校という自立は、「必要な支援を受けながら、自分らしく主体的に生活すること」を意味しています。自立活動とは、自分らしく主体的に生活するために、個々の障害による困難の改善を図ることを目標とした授業です。この2年間は、自立活動の中でも特に「身体の手組み」に重点を置き、身体の手組みを行う中でそれぞれの課題の改善を図っています。今後も、一人ひとりに本当に必要な課題は何であるかを常に考えながら、児童・生徒の教育活動の充実に努めてまいります。

今年度も、安心して学べる安全な環境を作り、児童・生徒が自分らしく成長できるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続き本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



学校に咲いているアジサイです。

## 「はたらく消防の写生会」



今年度は4月28日(火)に、小学部低学年の児童に向けて新宿消防署の消防士や地元の消防団の方々が来校してくださいました。消防士の方々の話を聞いた後に、消防車と消防団の車を見学しました。防火衣やヘルメットを着用する体験や、消防車に乗る体験をしました。どの児童も目を輝かせ、楽しそうに体験していたことが印象的でした。ポンプの部分やタイヤ、ホースの部分に着目している児童やハンドルのある運転席に興味をもち、実際に運転席や後部座席に乗った児童もいました。この会で見たことや体験したことを基に、図工の授業で消防車を題材にした作品を描き、本校の代表となる作品をはたらく消防写生会に応募します。



## 「ようこそ新宿養護学校へ！新入生歓迎会」



5月15日(金)に新入生歓迎会を実施しました。今年は中学部4名、訪問学級中学部1名の計5名を迎えました。新入生一人ひとりの自己紹介から始まり、各学年・学部ごとの歓迎の発表を行いました。会の進行や挨拶、歓迎の言葉は中学部生徒会役員が担当し、生徒会発足後の初仕事として活躍しました。歓迎の発表では、楽しい音楽に合わせたダンスや歌、学年の活動を紹介した劇を披露し、温かい歓迎の気持ちが溢れていました。最後に教職員バンドによる演奏を行い、楽しく有意義な新入生歓迎会となりました。

